

**製品名: プロヒビチンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00050**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 30 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PHB1
別名	PHB1; HEL-215; HEL-S-54e
遺伝子 ID	5245
SwissProt ID	P35232
免疫原	ヒトプロヒビチンの合成ペプチド

**背景**

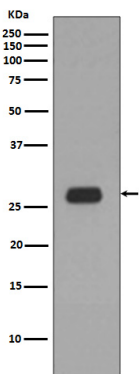
PHB1 は、細胞周期制御に関与する 30kDa の腫瘍抑制タンパク質です。PHB1 はミトコンドリア、核、細胞膜、そして細胞外循環中

に存在しています。ミトコンドリアでは、プロヒピチンは主に膜結合型環状複合体として存在し、タンパク質合成および輸送におけるミトコンドリアタンパク質の安定性を維持するシャペロンとして機能します。

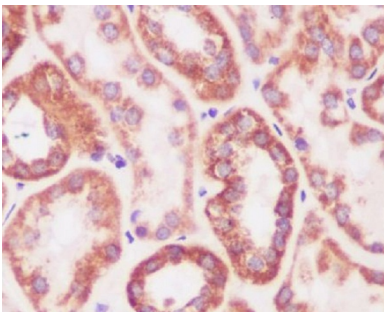
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



プロヒピチン抗体を使用した、Ramos 溶解物中のプロヒピチンのウエスタン プロット分析。



プロヒピチン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。